鹿児島市立桜丘中学校
令和５年４月２１日

第１号

「令和５年度のスタートにあたり」

校長　上久保大介

４月６日(木)午前、２年生１３６名、３年生１５１名による始業式が行われました。午後からは**新入生１４６名**を迎えての入学式が行われ、**計４３３名**による令和５年度の鹿児島市立桜丘中学校の教育活動が始まりました。今年は新型コロナウイルス対策も緩和され、私も久しぶりにマスクを外して式に臨みました。ただ、完全に脅威がなくなったわけでもありませんので、報道等から得られる状況を見て、縮小の形は取らせていただきました。それでも、今年はいよいよ**コロナから離脱**できるのではないかと期待しているところです。

さて、**中学生**は一生の中で最も**心身の成長が著しい持期**です。これまで味わったことのない感情の波に耐えきれなくなったり、急激な体の変化に体調を崩してしまったり等、子供も親もこれまでにない**心配や不安**に襲われるのがこの時期です。しかし、逆に、人生の中で、**最も多くのことを吸収できる**のもこの時期であるため、私たち大人はいかに子供の不安を取り除き、多くのことを学ばせるようにするかが、大切になってきます。

そこで、子供たちに有意義な中学校生活を送ってもらうため、今年も始業式、入学式で２つの言葉を使って次のような話をしました。

二つだけ心に刻んでほしい言葉がある。一つ目は**「素直」**と言う言葉。中学校生活では楽しいことや面白いことがたくさんあるが、悩んだり、迷ったりすることもある。そういうときこそ、周りの声を「素直」に受け止め、自分を見つめ解決方法を導き出してほしい。

二つ目は**「一途」**と言う言葉。解決方法が見つかったら「一途」に行動してほしい。「一途」に努力している途中で、疑問や間違いに気づいたときは「素直」に認め、修正をしてほしい。修正したら再び「一途」に取り組む。この**「素直」な態度と「一途」な取組のバランス**により心の成長が促され、学力や体力、生活力が向上し、中学校生活が豊かになっていくことになる。

本校では**「自主の鐘」**の校訓のもと、自分の夢の実現のために、たゆまぬ努力をし続ける生徒、「桜中生」になってほしいと願っています。そのためにも、私たち教職員と保護者、地域が手を取り合い、**「生徒の夢実現に向けて、考え、判断し、行動する生徒の育成（教育目標）」**を目指した教育活動ができますよう、努力してまいります。

本年度もご理解とご協力をよろしくお願いいたします。